

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科			看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名			看護学概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年			1年次	学期及び曜時間	前期	教室名	各教室
担 当 教 員			鎌田麻美	実務経験とその関連資格	総合病院・福祉施設などでの勤務経験あり。島根大学大学院博士前期課程修了。		
《授業科目における学習内容》							
看護の基本となる概念を体系的に理解し、保健・医療・福祉の広い視野で看護の機能、役割を理解する。また、人間理解を基盤とし、専門職業人としての倫理的態度を養う内容とする。							
《成績評価の方法と基準》							
出席、課題への取り組みと課題提出、筆記試験から総合的に評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
テキスト 「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護学概論」医学書院 サブテキスト 「看護覚え書」現代社							
《授業外における学習方法》							
事前にテキスト等を読み、分かることと分からないことを明確にして授業に望むこと。 各授業において予習・復習・課題などの取り組みに45分以上の授業外学習を行うこと。							
《履修に当たっての留意点》							
一つ一つの言葉の意味を考え、自分の言葉で表現できることを目指します。授業を通して看護への関心を高め各領域看護へ発展させて欲しいと思います。課題レポートが提示された場合は、調べ学習を行い、指定された期限を守り提出してください。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の対象である人間 とは何か。人間、命について考えることができる。			テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	人間について考える 成長発達段階の理論				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活者としての人間をとらえることができ地域看護の特性について説明できる。 健康とは何か説明できる。			テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	生活者としての人間 地域看護 健康の定義 ヘルスプロモーション				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護教育の教育体制や看護制度について説明できる。			テキスト 看護覚え書	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する 夏季休暇の課題あり
		各コマにおける授業予定	職業としての看護 看護教育の新制度と教育体制 看護制度				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	継続教育、倫理とは何か説明できる。			テキスト 看護の基本となるもの	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	看護者の就業状況と継続教育 倫理とは				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護における倫理、インフォームドコンセントについて説明できる。			テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	看護倫理 インフォームドコンセント グループワークオリエンテーション				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	看護の役割と機能について説明できる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	看護の役割と機能		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の継続性と連携について説明できる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	看護における情報伝達と共有 多職種チーム連携		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の提供のしくみについて説明できる。 医療安全について説明できる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	看護サービス 医療事故		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護理論について説明することができる。 看護の理論家についてまとめることができる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	看護理論とは 看護の理論家(年代と背景)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ナイチンゲールの功績とナイチンゲールの看護の定義を説明できる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	ナイチンゲールDVD視聴・視聴後レポートまとめ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	「看護覚え書」をとおして、健康の法則、看護の法則、看護であること、看護でないことの理解を深める。 なりたい看護師像を明確にすることができる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	グループワーク①		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「看護覚え書」をとおして、健康の法則、看護の法則、看護であること、看護でないことの理解を深める なりたい看護師像を明確にすることができる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	グループワーク②		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「看護覚え書」をとおして、健康の法則、看護の法則、看護であること、看護でないことの理解を深める なりたい看護師像を明確にすることができる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	グループワーク③		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「看護覚え書」をとおして、健康の法則、看護の法則、看護であること、看護でないことの理解を深め、なりたい看護師像を明確にし自分の考えを発表することができる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	グループワーク発表①		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「看護覚え書」をとおして、健康の法則、看護の法則、看護であること、看護でないことの理解を深め、なりたい看護師像を明確にし自分の考えを発表することができる。自分自身の看護観を導き出すことができる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	グループワーク発表② 看護観について		